

2024年4月26日新緑の菊水山で観察した植物

作：岡田弘

コバノガマズミ (小葉の莢蒾)ガマズミ科ガマズミ属 * 花期4～5月

*** 名前の由来**＝コバは小葉で小さい葉、ガマズミは諸説ある、古い言葉で、赤い美と言う意味の「カガズミ」が転訛したという説。果実を頬張ると噛まずに種を吐き出すため「かまず実」の説。昔は熟した赤い果実を染料に使ったので「染め」がゾメ⇒ズミへ転訛したと。*** 食用**＝秋が深まると赤く熟した実が透明感が出て甘くなる、大根やかぶ等の浅漬け時に用いれば「赤漬け」となる。他に、ジュウスやキャンディ、酢、ポン酢、ジャム、ゼリー、健康ドリンクなどに商品化されている、焼酎やホワイトリカーに漬け込んで3ヶ月以上たてば果実酒となる、ほぼ半年で実を取り出せば褪色しない。同じ仲間の、ガマズミ、ミヤマガマズミ、ヤブデマリ、オオカメノキも同様利用できる。*** 薬効**＝果実は「莢蒾子」(きょうめいし)と呼んで赤く熟した果実を焼酎に漬けて果実酒にする、疲労倦怠、動脈硬化予防などの効果がある。福島以西の本州、四国、九州に分布、落葉低木、特に関西に多い、葉の先端が尖り鋸歯が目立ち、葉柄が短く托葉がある、表面に突起があり手で触れるとざらつく。

*** 花言葉**＝無視したら私は死にます・私を無視しないで・愛は死よりも強。・何故このような花言葉にたったか不明です。



コガクウツギ (小額空木) アジサイ科アジサイ属 * 花期 = 5～7月

*** 名前の由来**＝額アジサイのように装飾花があり、枝の先が空木になっているから付いたガクウツギに似て小さいから。*** 花言葉**＝明日の幸福。・装飾花は普通3枚ですが、4枚のを見つけると幸せや幸運を呼ぶと、4つ葉のクローバーと似ています。

落葉低木でせいぜい2m程度、本州東海以西、四国、九州に分布、葉は単葉で対生、長楕円形楕円形、林の日陰などに多く自生、両性花と装飾花があり、花卉にみえるのは額です。薬用は特になし、地方では葉をお茶にしているところもある。



アオダモ (青櫛) モクセイ科トネリコ属 * 花期＝4～5月

*** 名前の由来**＝「アオ」の由来は、雨上がり樹皮が緑青色になることから、枝を水にひたしてしばらくすると水が青く染まる、紫外線を当てると蛍光色を発する、又、高級感を出すために黒墨に加えた青墨を作るための着色剤として利用された、樹皮に含まれる「エスクルン」という成分が水に反応して青く光る、その特性を利用して染料としても利用された、「ダモ」とは？トネリコ属の総称を「タモ」と言うことから。日本では沖縄を除く全域に分布、落葉、中高木羽状奇数複葉、雌雄異株、種子は翼果で遠くへ飛んで散布、トネリコの木、との判別は難しい材は硬くて、ねばりがあり衝撃に強いことから、野球のバット、テニスラケット等の利用されており、プロ野球選手のイチロウも使用していた。*** 花言葉**＝幸福な日々



キンラン (金蘭) ラン科キンラン属 * 花期＝4～6月

*** 名前の由来**＝黄色（黄金色）花をつけるので。ランとは、良い香りを閉じ込めた花という意味合いがる。*** 花言葉**＝華やかな美人・眠れる才能。キンランは、強い陽射しが当たる場所でなく、太陽の光がある程度入る山林や雑木林のような、木漏れ日が入る場所を好みます、栽培は難しい、菌根菌や他の樹木との共生関係にあるので移植しても育たない。現在では、絶滅危惧種となっています。花は鮮やかな黄色で総状につけて全開しない半開きの状態のままです、花卉は5枚で3裂する、葉は柄がなく茎を抱きます。今回も木の陰にひっそりと咲いていました。



カラフトホソバハコベ (樺太細葉繁縷) ナデシコ科ハコベ属 * 花期＝4～5月

*** 名前の由来**＝明治時代に樺太で見つけられたので、細い葉、のハコベ、ハコベは葉配り（はくぱり）が転じて「はくべら」となり、更に転じて「ほこべら」になり更に「はこべ」となった。ヨーロッパ原産の多年草で、茎は無毛で4稜ある、基部からよく分枝して斜めに伸びる、葉は対生で細い、花は雌性と両性花があり両性花の方が大きい。雌花には蕊がない。*** 花言葉**＝愛らしい。5枚（10枚に見える）星が瞬いているように見える。今回は。駅から出て歩道の脇のあちこちに群れて生えていた。



ヒメハギ (姫萩) ヒメハギ科ヒメガギ属 * 花期＝4～7月

*** 名前の由来**＝ヒメとは小さくて可愛いの意味、ハギは養蚕の時に使う、雑木の小枝を束ねたものを「はぎ」といい、それに枝の伸びているのが似ているから「はぎ」という名になった。ヒメハギはマメ科のハギとは別種です、常緑の多年草で日本全国に分布している、日当たりのよい斜面などに自生、薬効も多くあり根を乾燥させて、鎮静・去痰・抗炎症・強壮作用、等々多い。*** 花言葉**＝隠者・信じる恋、目立たずにひっそり生えている所からの花言葉です。

